

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行性腎細胞癌に対するニボルマブ治療の実態調査
	研究目的	本邦の実臨床におけるニボルマブ治療の対象となる患者の背景、ニボルマブの効果・安全性を明らかにします。さらに予後や副作用と関連する臨床因子を探索し、安全かつ効率よいニボルマブの使用法に繋がる情報を発信します。 上記施設において、ニボルマブによって治療された進行性腎細胞癌症例の臨床情報を既存のカルテ・画像データから収集し、実臨床における治療成績および治療対象者の背景、治療方法、副作用の実態を明らかにするとともに予後に関連する臨床病理学的因子を探索します。
	研究対象者	横浜市立大学附属病院・横浜市立大学附属市民総合医療センター・神奈川県立がんセンター・横須賀共済病院・横浜南共済病院・平塚共済病院で2013年3月から2022年9月までの期間にオプジーボ（ニボルマブ）による治療を受けた20歳以上の腎癌患者さん（性別は問いません）
	研究期間	西暦 2018 年 10 月 19 日 ~ 西暦 2023 年 9 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	泌尿器科 部長 岸田 健
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	研究代表者 横浜市立大学附属病院 泌尿器科 中井川 昇 研究参加施設 横浜市立大学附属市民総合医療センター 腎移植・泌尿器科 上村 博司 横須賀共済病院 泌尿器科 小林 一樹 神奈川県立がんセンター 泌尿器科 岸田 健 横浜南共済病院 泌尿器科 池田 伊知郎 平塚共済病院 泌尿器科 宇田川 幸一